

会員数 60名 出席者44名・欠席者14名・免除会員3名  
欠席者 麻田・秋山憲・秋山恒・後藤・細谷・和泉享・松山・竹内一・飯間  
岸上・尾崎・中野昌・眞鍋・谷本・会員

前々回出席率 79.31%(2/14)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 川原 一夫  
幹 事 福田 洋子  
会報委員長 岡田 将一郎

## お知らせ

## 2月のプログラム

7 (No.1)-クラブフォーラム  
14 (No.2)-客話  
21 (No.3)-職場例会  
28 (No.4)-会員卓話

## 他RC例会変更

坂出東 2/13→2/2 清掃活動  
3/27 夜間例会  
丸亀東 2/26 夜間例会  
善通寺 3/6 職場例会  
坂出 3/19→3/20 合同例会

## ニコニコBOX;

よいことがありました  
橘君 秋山憲夫君  
先週の職場例会に大勢の方に  
出席頂きありがとうございました  
石合会員、馬場会員ご協力  
ありがとうございました  
吉田君  
卓話を終えて  
野口君  
野口会員の卓話を聞いて  
川原君

<ニコニコ会計累積/¥346,823>

## がんばるBOX;

早退します  
天野君

<がんばる会計累積/¥294,000>

## ■会長挨拶

不動産取引においては、売買契約書と重要事項説明書の2点が大切です。特に重要事項説明書は、一般消費者が、よく分からないうちに契約してしまい、後で損害を被らないようにするための書類です。重要事項説明書には、その不動産の詳細な法令内容が書かれていますので熟読し、詐欺にあわないよう気をつけて安全な取引に努めましょう。

## ■幹事報告

- ①丸亀市バスケットボール協会より第37回ロータリークラブ杯争奪ミニバス大会共催のお礼が届いています。  
②第41回RYLAセミナーのご案内がきてます。  
小豆島YMCA余島で実施 H31年3月29日締め切りです

## ■例会事業;会員卓話;シリーズ箴言⑥ 野口会員

私は丸亀ロータリークラブで今は一番古い会員になっています。25才の時に入会しました。その当時は周りの人は父や祖父のような存在でした。また、ロータリーバッジが唯一の会員証のようなものだから着用していないと何人もの人に注意を受けました。  
1949年に東京RCがRIに復帰して以後、各地のRCが再登録しました。  
“中西讃8RCの創立に就いて”



坂出 S29年 観音寺 S35年 琴平S37年 丸亀S38年6月1日  
善通寺 S43年(特別代表 麻田先生) 坂出東 S44年  
丸亀東 S50年(特別代表 宮本正男) 観音寺東 S53年  
“出席の意義に就いて”

## ロータリアンの3大義務

1. 会費納入
2. 「ロータリーの友」の購読
3. 出席の義務

- 落ちていたゴミを拾うような人をつくる事は、勿論大事であるが、ゴミを捨てないような人づくりをする、それがロータリーの本願である。  
○昔は、里芋は桶の中に入れて板でグルグルかき回されて、きれいな洗い芋となったものだが、きれいにしてくれたものは実は板ではなく、お互いの里芋のすれあいであった。ロータリーという桶の中に入れてきた会員諸氏は、ルールや先輩という板でかき回される間に、お互い会員同志が切磋琢磨し自己の成長があり人間性が陶冶されていく。

## 『親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団』

## ロータリーの目的

知り合いを広めることによって奉仕の機会とする事。

### 「白血病患者の力に」

競泳女子の池江璃花子選手(18)の白血病公表を受けて、県内でも骨髄バンクにドナー登録する人が増えている。

白血病の重要な治療法の一つが骨髄移植。日本骨髄バンクや県によると、昨年12月末現在、移植を待つ登録患者は2930人おり、県内でも12人が移植を希望している。一方、ドナー登録者は全国で約49万人いるが、県内は3451人とどまっている。県内でのドナー登録は4か所の保健所(要予約)や献血バスでも可能。ドナー登録ができる献血ルーム「オリーブ」(高松市丸亀町)では池江選手が白血病を公表して以降、問い合わせが相次ぎ、通常の平日は登録者がほぼゼロだが、2月13日には2人、14日には10人が新たにドナー登録した。

ドナー登録は18～54歳の健康な人で、体重が男性45キロ以上、女性40キロ以上などの条件がある。患者と適合後も提供できるのは20歳以上で、家族の同意や骨髄採取での入院などが必要。

こうした状況に理解を深めてもらうため、ボランティア団体「かがわ・骨髄バンクを応援する会」と高松グリーンロータリークラブは、先月「オリーブ」で登録説明会と街頭での啓発活動を行った。

日本骨髄バンク説明員を務める同会の片島恭子会長は「命を助けるために一人でも多くのドナーが必要。骨髄移植を理解した上で登録してほしい」と話している。